

## 地域内の道路周辺徹底清掃



道路に面した法面などは、草刈り機を使用して

交通量の多いところは  
慎重に作業



9月21日、八方原老人会の有志による奉仕作業が行われました。これは全国的な老人クラブの社会奉仕活動で9月の中旬に多くの老人会が、公共施設の清掃などをおこなわれます。

八方原老人会は市道の清掃を長年続けてこられています。総延長は1500メートル近くになります。機械力も利用し、丁寧な作業が行われます。今回は26名の有志が参加されました。

今回はガス管工事で、舗装がやり直されたところもあり、その分の作業は

## コンバインの稲刈りを見学学習

楽だったかも知れませんが、農作業の通路と兼用になっている個所は、舗装の淵から生えてくる雑草の始末が大変です。  
老人会の方々の作業は毎回のことから、大変に丁寧に作業をしていただきますので、隅々まできれいになりました。  
この作業は農地に隣接した道の清掃ということで、多面的機能支払交付金の対象事業です。

9月26日、山口市立上郷小学校2年生が稲刈り見学の学習に八方原にやってきました。2年生は田植え作業も学習しています。

6月に植えた稲が、収穫を迎えるということ、つまりあのか細い苗が、こんな稲になっていることとつながらないのではないのでしょうか。

コンバインが刈り取った稲を袋に送出了すと、一斉に歓声が上がりました。作業にはみんな興味があります。

## 山口市体育大会に出場

9月2日、維新みらいふスタジアムで行われた市体育大会に参加しました。運動会での男子ムカデ競争で5位だった八方原チームですが、上位チームが棄権したために地区代表として出場しました。結果は良くありませんでしたが、良い経験となりました。

(倒れこんでゴールイン)



毎回、難しい質問。答える側も一所懸命

# 百歳まで元気で生き抜こう

八方原敬老会が9月23日、八方原公民館で行われました。昨年度より「シルバー昼食会」という簡素なスタイルになりました。

今回は昭和24年生まれの方を新たにご招待しました。今年度の対象者は68名ですが、ご出席は33名でした。何とか多くの方に参加いたどうかと、地元開催に戻したのですが、十分効果があるとは言えない状況です。ただ、全員がご参加いただくと会場に入りきれな



最後は小郡音頭とふしの踊り（仮称 エプロンレディース）

いかも知れないというジレンマあります。

参加の皆さんがそれぞれ披露される歌や踊りに、やんやの喝采。カラオケ系の公民館長は大忙しです。リクエストのあった曲目があるかどうか、どの順番か、ベテラン歌手をお持ちせしなように、懸命の対応です。

会も終わりに近づいて、地域老人クラブの研修旅行の参加の呼びかけや、ご自身の健康長寿のための心がけなど

## 昼も夜も楽しめる「ゆめ花博」



夕刻からの会場は柔らかな光に包まれる

山口ゆめ花博が9月14日に開幕しました。全国都市緑化やまぐちフェアというのが正式名称です。「緑豊かな街づくり」というのが統一テーマです。様々な植栽や、自然の材料を使った遊具など、楽しい催しがいっぱいです。連日予想を超える人出です。もう一つ隠れたテーマは公園の新しい可能性だといわれています。広大で維持管理に膨大な費用が掛かる公園には批判的な意見も少なくありません。どうすれば、管理コストを低く、多くの人に利用してもらえるかの社会実験という要素も含まれているようです。



フラダンスを披露（原田照子さん）

が披露されましたが、その中で重富勘一さんが話されたのは印象に残りました。百歳まで健康に生きるために「本を読もう、漢字を書こう、笑おう、歩こう」などを上げられました。漢字を書くというのは、高齢者のみならず、パソコンに頼る若い世代にも大事なことでですね。

## 「小郡一番」の花壇に 返り咲き



見事なサルビアが咲き誇る花壇、努力の結晶

平成30年度小郡花いっぱい運動コンクールの審査結果が発表になりました。今回は20団体が参加しています。最優秀賞には「八方原花壇ボランティアの会」の花壇が選ばれました。今年は神武さんを中心に活動を続けられ、この夏の異常とも思われるような酷暑の中、水やり、除草などのお世話を続けてこられました。県道に面してこの花壇は、たくさんの方の目に触れます。言い換えれば八方原の顔ともいえるこの花壇です。心より受賞のお慶びを申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。